

花を観察して生けてみよう「一花一葉」

作成者：株式会社姫路生花卸売市場 清田 秀豊

■ 実施主体

名称：花の街ひめじ実行委員会

担当窓口：株式会社姫路生花卸売市場

花育アドバイザー 清田 秀豊

所在地：兵庫県姫路市御国野町深志野300番地

H P：http://himehana.jp

■ 団体等構成（協力会員）

安田 由紀 フラワーデザイナー gold flower 代表

佐野 愛子 未生流中山文甫会 佐野茶華道教室

株式会社永谷園芸 生産者

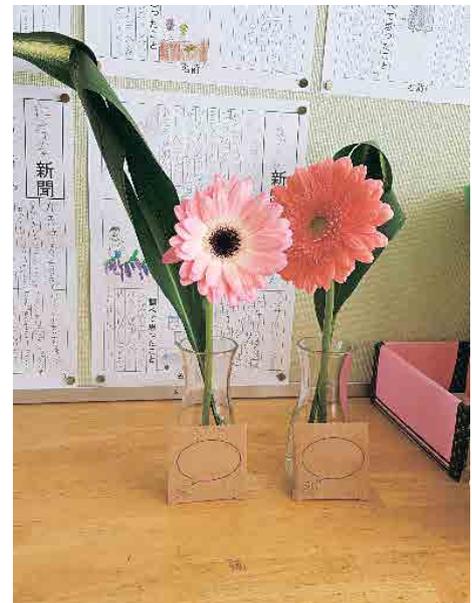
山崎花卉園芸 生産者

山口 順治 生産者

井上農園 生産者

春本園芸 生産者

■ 取組地域 兵庫県姫路市内



■ 概要

姫路市教育委員会の認可を受けて、花を使った環境体験教育を実施しています。

子どもたちが花や緑に触れあう機会を通じて

- ①豊かな創造力を発揮する機会を育みます。
- ②心身共に癒され優しさや美しいと思う健全で豊かな心を養います。
- ③自然環境や生態系との関わりを知り、自然や命の大切さを学びます。
- ④親子のコミュニケーション機会を作ります。
- ⑤友達や学校、地域社会との交流機会を広げます。

■ 取組開始時期・経緯

2010年ごろから、小学校より花壇作りや寄せ植えを教えて欲しいと依頼があり、子どもたちと一緒に寄せ植えを作る機会が増え、植え方や育て方を説明しているうちに、もっと子供たちに花のことを知ってもらうために何かできないかと考えるようになりました。

2011年、「一花一葉」の花育プログラムを紹介いただいて、取組みをはじめました。姫路市教育委員会に花育プログラムを提案し、認可をいただいて姫路市内の全小学校へご案内させていただくようになり、お申込みをいただいた小学校で実施しています。

■ 目的（目標）

姫路市内の小学校69校に、授業カリキュラムとして取り入れていただきたいと考えています。

【取り組み内容】

■ 対象者：姫路市立八幡小学校 3年生5クラス170名

■ 教科：総合的な学習の時間

■ 所要時間：2時限 90分

■ 対象場所：小学校教室内

■ 指導者：講師1名、サポートスタッフ2名

■ 資材：花育花びん ※花育用の花びん

■ 花材

「一花一葉」用

ガーベラ、ハラン

「みんなで生けるクラスの花」用

アルストロメリア、スプレーカーネーション、バラ、オンシジューム、トルコギキョウ、ヒペリカム、グラジオラス

タイムスケジュール 花育授業 「花を観察していけてみよう」

8：45 開始挨拶 講師スタッフ全員で自己紹介、順番に1人ずつ元気よく挨拶

- ・「おはようございます ひめじ生花卸売市場の〇〇といたします。どうぞよろしく申し上げます。」
- 「私たちは姫路市内の小学校で花育という授業をさせていただいています。」

◇本日の授業についての説明をする 黒板に書いて説明する

- ・「ではこれからみなさんと一緒に花育という授業を行います。まず1時間目は 花を観察する 2時間目は 花を生ける という内容の授業です。」

◇ガーベラの花を持って見せる

- ・「このお花は何のお花か知っていますか？ 他に知っているお花はありますか？通学路に咲いているお花をみつけたことありますか？」
- ・「みんなより強いと思う？弱いと思う？」
- 「みんなより弱いものなので大切に扱って、守ってあげてください。」
- ・「これから2つの約束をしてください。」

◇2つの約束

- 1 「お花は切った後も水を吸って生きています。みんなより弱い生き物なので、大切に守ってあげてください。」
- 2 「あとで水、ハサミとホッチキスを使うときに、絶対にふざけたり、暴れたりしないこと。水がこぼれると、作品が台無しになりますし、ケガをすることがあります。」「この2つの約束をしてください。約束できる人？」

◇ワークシートの配布

「ワークシートに名前を書いてください」

8:55 ガーベラの産地紹介DVD視聴

◇産地紹介のポイント

- ・「今からガーベラの産地の映像をみんなで見ましょう。このガーベラのことをよく知ってもらいたいと思います。和歌山県の産地です。こちらでは一年中ガーベラを生産出荷しています」。
- ・「ベンチ栽培という方法で栽培しています。ハウスの中は23℃の温度で保たれています。湿度も高く、自動で換気をして調整しています。」
- ・「水やりは1日7回、1回に30cc、45分に1回栄養と一緒に自動で与えています。害虫から守るため、消毒も行っています。」
- ・「花を収穫する時は、花粉管が少しでてきたものを取ります。花粉管が出すぎると花粉が増えてカビのもとになるので、注意してみています。ガーベラはハサミで切ったりしません、根本から折ってとります。」
- ・「取った花は、選別しながら花キャップをつけます。そのあと長さを調整して花の裏側を選別して水につけます。殺菌も同時に行います。冷蔵庫に入れて保管し、翌日出荷します。」
- ・「新しいハウスです、750坪 体育館より少し大きいぐらいです。15,000株がここに入ります。1日6,000本～季節によっては10,000本取れます。どうですか、こうやって生産者の方が大事に育てたガーベラが、花市場に送られてきます。そしてお花屋さんが仕入れにきて、お花屋さんに並びます。そしてみなさんがお花屋さんで買っていくということになります。」

9:00 花を配布する 1本ずつ両手で丁寧に手渡し、「はいどうぞ」

◇ガーベラを配布

- ・「見てもらったように、生産者の方が毎日欠かさず手間をかけて、大事に育てられて出荷された花がこのガーベラです。今からみなさんに1本ずつ配りますので最後まで大事に守ってあげてください。命あるお花です、落としたり、折ったりしないようにやさしく丁寧に扱ってください、それからガーベラのなに色がいいとか選ぶのではなく、渡されたガーベラを自分の花として、自分の友達として大事にしてください。」

9:05 ワークシートを使って観察

◇花を観察して絵を描く

- ・「花の観察をしたことありますか？ ふだんでも気にして見ていると、いろんな所にお花は咲いていますよ。」
- ・「花全体をじっくり見て、絵に描きましょう、花全体を見ます、花びら、花の芯は花芯、花びらを支えているところはガクといいます、そして茎、大事なお花をよく見るということは、この花のことをよく知ることです。花と友達になって、よく知ることによって仲良くなれるということ。」

「上手に描けたとか、下手とか関係ありませんよ。最後まで描けなくても大丈夫です。よく見て描くと花びら1枚しか描けないかもしれません。それでも大丈夫です。とにかくよく見て丁寧に描いてください。」

(この間は、静かに見てまわって認める言葉をかけてあげる)

◇さらに虫めがねで観察し、発見したことを描く

- ・「花の一部分をよく見て、絵に描きましょう、虫めがねを使って全体を見てみます。普通に見えないものが大きくみえるので、なにか新しい発見ができると思います。発見したこと、気づいたことを一部分だけ絵に描きましょう。お花のことをよく知りましょう。」

◇花の香りを嗅ぐ

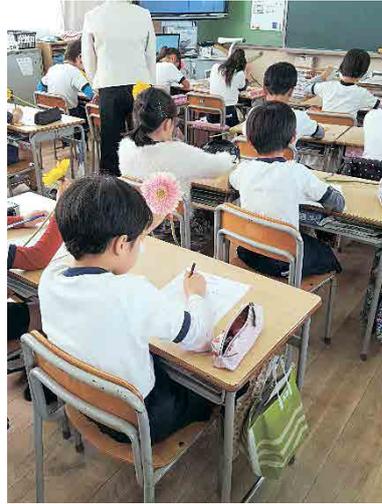
- ・「においを嗅いで感じたこと、気が付いたことを言葉で書きましょう、実はガーベラのにおいは弱いものです、そんな時は目を閉じて自分の花と向き合って静かに鼻をすまします。花を手で覆って鼻に近づけて、集中してみてください、なにかにおいを感じると思います。いままで普段の生活のなかでいろんなにおいをかいでいると思います。なにかの匂いに似ていないか思い出してみてください。なになにみたいなにおいがすると書いてください。中にはまったくにおいがしないものがあるかもしれません、においがしない人はにおいがしないと書いてもいいです。」

◇触って感じたことを書く

- ・「花や、くきを触って感じたこと、気づいたことを言葉で書きましょう、さあ、このガーベラを触ります、やさしく丁寧に触ります。本当は花びらを触ったり、花芯を触ったりすると、お花にはよくないかもしれませんが、今日はお花と友達になったので、大丈夫だと思います。強く握ったり、押さえたりするとなにを触っても同じ感覚しかしません、そおと、親指と人差し指で触るか触らないかのところでやさしく触って感じてみてください。お友達を傷つけないように触りましょう。触って感じたことを書いてください。例えば、花はなになにしている、茎はなになにしている、というように書いてください。」
- ・「はいこれで観察は終わりです。みんなガーベラのことをよく知ることができたと思います。」

友達になることができたと思います。みんなよく集中できましたね。」

- ・「どうでした？お花を観察してお友達のことがよくわかりましたか？いろんなことを発見できましたか？どんなこと発見しましたか？何か質問はありますか？」
- ・「これからもいろんなお花を観察してみてください。いろんなことを発見しましょう。」
「いろんなお花と友達になりましょう。」
- ・「このワークシートはおうちに持って帰って、あとで思い出せるように大切にしてください。おうちの方にも見せてあげてください。」



9:20 トイレ休憩

9:25 講師からの生けかた説明とサポート

◇花を生ける

- ・「では、今から花を生ける授業です。」

「まずは、講師の先生のお花の生けかたの説明を聞きましょう。」

目の前で生け花を見せる、いろんなお花を生けて見せる（花育花びんに生ける）

「お花は太陽の方を向いて成長して咲きます。」

「花の気持ちになって、自分が太陽になって、お花と向き合って生けます。お花の顔を見ながら、どうしたら花が気持ちよくいられるかな、お花のことを考えていけます。」

（斜めにいけたり、長さを変えたりしていろんな表情を見せる）

- ・ハランの形を見せる

（優しく揉んで曲げる、葉脈に沿って割く、割いた葉を結ぶ）

「ハランは葉脈があり、葉脈に沿って割くこと、いろんなイメージがふくらむと思います。長さによってもイメージが変わります。」

- ・ハランとガーベラをいろんな表情で生けて見せる。

9:35 花育花びんを配布、花を生ける

◇花びんの準備ができたなら水とハランを配る

(見て回って困っている人がいたら聞いてあげる)

- ・「先にハランの形を考えてハランから生けましょう、ハランの形が決まったらハランを生けてガーベラを生けましょう。こうしたいけどうまくできないという人は先生に聞いてみましょう。」
- ・「必ずお花の気持ちになって、お花と向き合って生けましょう。」
- ・「完成した人は手をあげてください、後ろの棚に展示します。」
- ・展示するときは、端から順番に展示する（サポートして倒れないように展示してあげる）
「作品が完成したら後ろの棚に展示してください、倒れないように気をつけましょう。」
「まだ作品を作っている人もいますので、終わった人は身の回りをきれいにしましょう。」
「最後まできれいにすることが、お花を生けることです。」
- ・「ワークシートの裏に感想を書いて静かに待ちましょう」
(この間に担任の先生に大きな花器をつくってもらう)
- ・「他の人の作品を見てどうですか？ いろんな作品がありますね、みんな個性があってみんな違って素敵です。」



9:50 お花の説明、 みんなでクラスの花器に花を生ける

「では、みんなで生ける花の名前と産地を紹介します。みんな覚えてくださいね。ワークシートの裏に書いてもいいですよ。」

- ・黒板に花の名前と産地の名前を書いて、花を紹介する。
「〇〇という名前の花です、〇〇県でつくられました。」

10:00 クラスの花をみんなで生ける

- ・「では今から、クラスの花をクラスみんなの為に花を生けます。クラスみんなにいつもありがとうという気持ちを込めて、1人1本ずつ生けていきます。」
- ・「1人ずつ順番に生けてもらいますが、みんなこのお花を生ける時にどこにどのお花を生けるか、お花の色、長さを考えてどんなふう完成させたいかイメージして生けましょう。」
「では1人ずつ前にでてきてもらって、お花を渡します。自分の花を生けてください。」
- ・順番に1人1本ずつ手渡して生けてもらう
「〇〇〇〇です、はいどうぞ」
(保護者の方がいる場合は参加してもらう)



10:10 クラスの花の完成

- ・「完成しました、見てくださいとても素晴らしい作品ができました、この作品は1人1人の個性が集まったクラスと同じです、みんなの気持ちが詰まった、みんなで生けたクラスの花です、みんな違う個性が1人1人集まった作品がこのクラスの花です。」

「みなさんの周りにも自然のお花がたくさんあると思います。またご家庭でおうちの方と一緒にいろんなお花を生けてみてください。」

- ・「みんなイメージどおり生けることができましたか？自分の花を生けてみて、クラスの花を生けてみてどう思いますか？」
- ・「感想を發表しましょう。」
- ・「何か質問はありますか？」

- ・「この花はみんな生きているお花です、だからやがて枯れてしまいます。せっかくのクラスのお花を長持ちさせたいですね、今からお花を長持ちさせる方法を説明します。

お花に元気がなくなってきたら少し切ってあげます、新しい切り口から水を吸い上げて元気になります。水が濁っていたり、汚れていると茎の切り口が詰まってしまいます。切るときは斜めに切って水を吸う面積を大きくします。」

「水が汚れる前にきれいな水に替えましょう。」

「クラスのお花は、たくさん生きているお花が元気よく水を吸いますので、水が減ったら足してあげてください。毎日みて観察することが大事です。元気が無いお花を見つけたら、元気にしてあげましょう。クラスのお花をみんなで大切にしましょう、生きているお花です、みんなと同じ生きている友達です、変わったことがあったら気づいてあげましょう。」

10:20 終了

「今日はみなさんととてもいい授業ができました。花育授業はこれで終わりです、ありがとうございました。」

■ 指導のポイント

- ・花は物ではなく命あるものとして大切に扱う事を伝え、自らもそのようにする。
- ・スケッチしている時、創作している時には必ず認める声掛けをする。
- ・雰囲気を見て、話し方に強弱をつける。
- ・子どもたちに問いかけて、常に意見を發表してもらおう。
- ・個性があって、みんな違うこと、みんなと同じでなくても良いことを伝える。
- ・どんな時も急かさずに導く。

■ 児童・生徒に感心を持ってもらえるように工夫している点

- ・説明するときは必ず手をとめて、注目してもらえるように促す。

- ・ 問いかけをして、自分の意見を発表してもらいそれを認めてあげる。
- ・ 観察を通して花の特徴を発見できるように導く。
- ・ 生けかたの工夫次第でいろんな花の表情が見ることができることを伝える。

■ 経費

- ・ 学校や生徒個人に負担がないように無償で行っています。

■ これまでの成果

子供たちには、花のお手入れ方法をしっかり伝えて、ちゃんと実行していることを聞いた。お手入れを続けると花保ちがよくなることを体験して理解している。

花育花びんを持って帰って、いろんな花を挿して飾っているとのこと。花を毎日観察して変化に気が付くようになり、弱った花にはきれいな水に替えたり、切り戻しをしたり、優しい心や思いやりの心を育んでいる。

また、お陰様で先生方のご理解や評価をいただき、毎年実施校が増え、花育授業の回数も増えている。

■ 参加者からの感想

- ・ 子供たちは、初めての体験でとても喜んでいました。
- ・ 花の事をいろいろ教えてもらえて嬉しそうです。
- ・ 保護者の方には、オープンスクールの日に参加していただき、クラスのみんなといっしょに花を生けていただいたりしています。喜んで参加していただいています。

またご家庭でも、子どもたちが自分の生けた花を、教えられたとおりに大事にお手入れをしている姿をみて感心されているようです。

■ 今後の課題やその改善方法

- ・ 花育授業にご協力いただける講師、サポートスタッフの人数が少なく、スケジュール調整が困難である。

少しでも興味のある方には、花育授業を見学していただいてご理解とご協力をいただけるように案内している。

小学校の授業カリキュラムとして取り入れていただくには、小学校の校長先生や担当の先生方に花育授業を知ってもらう必要があるので、姫路市教育委員会の校長会や環境体験事業説明会で花育授業の説明をさせていただいている。

